

【NEWS RELEASE】

2022 年 4 月 1 日

各 位

株式会社三井住友銀行

2022 年度新入社員入行式頭取訓辞要旨

本日、三井住友銀行頭取 CEO 高島 誠は、2022 年度新入社員入行式において、下記要旨の訓辞を述べました。

記

1. 経営環境と方向性

コロナ影響の長期化に加え、ロシアのウクライナ侵攻を始めとした地政学リスクの発現はあらゆるビジネスに対してかつてない不透明感と不確実性をもたらしており、お客さまの事業戦略上の課題は益々多様で複雑なものになっています。また、同時に DX やサステナビリティ、気候変動への対応など、社会が、そしてお客さまがそもそも抱えていた構造的課題が一気に浮き彫りになっています。こうした変化を前向きに捉え、社会的構造課題の解決に向けて、三井住友銀行を誰よりも頼りにされるマーケットリーダーにしていきたいと考えている。

2. 新入社員へのメッセージ**(1) 「Integrity」と「Customer First」の精神を貫いて欲しい**

学生時代と異なり、絶対的な正解が中々見つからなくても考え動き続けなければなりませんし、正解のない中でも意思決定をし、前に進んでいかなければなりません。その中で何を抛り所にすれば良いのか。判断に悩んだ際、「Five Values」の中でも、最も根源的、絶対的な価値観である、「Integrity」と「Customer First」に立ち返って欲しい。即ち正々堂々、誠実に行動し、お客さまや社会のお役に立つという軸を確りと打ち立ててほしい。

(2) 失敗を恐れず、何にでも果敢にチャレンジすることで、自身の可能性を広げて欲しい

新しい環境に身を置くことになるが受け身であってはならない。若い時にどれだけ色々なことにぶつかり、そして失敗したかが、将来の実力、プロとしての付加価値を決めていく。自らの可能性を狭く限定することなく、何事にも、自分にはとてもできそうもないと思えることでも、主体的に怯むことなく逃げずに立ち向かって欲しい。

(3) オーナーシップを持ち、自らのキャリアを自分の手で掴みとる気概を持って欲しい

「自分たちの手で三井住友銀行を引っ張っていく」という意気込みを持って、主体的に新しいことにチャレンジし、それを楽しんで欲しい。三井住友銀行には自分の意識の持ち方や頑張り次第で、幾らでもチャンスをつかみとれる広大なフィールドがある。まずは与えられた目の前の業務に、高いオーナーシップを持って、主体的にチャレンジし続けることで、自分自身の付加価値を高め、「自らの手でキャリアを掴みとる」という気概をどうか忘れないで欲しい。

3. 結び

今日から皆さんは三井住友銀行の一員です。前を向いて、一緒に、そして元気に、歩みを進めて欲しい。皆さんの縦横無尽の活躍を期待している。

以 上